

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～				
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー				
重点プロジェクト		強靱なまちづくりプロジェクト				
主管課	都市政策部 上下水道課	評価責任者		山風呂 敏		
		評価日		令和6年6月1日		
関連課	環境課					
目標	快適な生活環境のために浸水被害を防止する雨水対策を進めるとともに、生活排水処理の促進を図ります。また、既存下水道施設についても、適切な維持管理や老朽化した施設の更新を行います。					
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 雨水対策の推進及び排水施設の維持管理 ○都市型浸水被害を防止するため、排水施設の整備を進め、既存施設についても適切な維持管理や長寿命化修繕計画に基づき修繕を行います。 ○県で進めている河川の洪水防止のための雨水浸透マス設置事業について、説明会の開催などに協力します。</p> <p>(2) 生活排水処理の促進 ○市街化調整区域での排水処理を促進するため、下水道管の整備とともに、合併処理浄化槽への転換などの手法を検討します。また、市街化調整区域の整備計画及び受益者負担金の明確化を図るとともに、受益者の理解を得ながら進めていきます。</p> <p>(3) 下水道事業の経営基盤の強化 ○長期的な財政計画を策定し安定的に事業を進めていきます。</p>					

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	貯留浸透施設設置数					
		説明	浸水被害軽減のため、雨水浸透施設等の設置数としているが、令和3年度には最終目標値を超えている。現在は川崎地区、元福岡地区での浸水対策として、川崎地内に調整池の整備を令和7年度完成に向けて進めている。					
	単位	箇所						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	49	50	51	51	52	53
		実績値	49	50	52	54	54	54
	指標2	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
		指標名						
		説明						
	指標3	単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
	指標名							
指標5	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	1,962,149	2,076,657	2,109,061	2,065,081	2,670,377	2,504,592
	人件費	72,502	78,244	75,646	75,995	79,653	83,194
収入	特定財源	1,606,057	1,767,044	1,765,242	1,771,395	2,390,394	2,175,516
	一般財源	428,594	387,857	419,465	369,681	359,636	412,270

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	貯留浸透施設設置数	近年の降雨は集中豪雨化する傾向にあり、本市においても都市型浸水被害が発生していることから、被害の軽減に効果的な地域に、雨水流出抑制を目的とした調整池及び遊水池の整備、並びに雨水浸透施設の設置を進めている。	川崎調整池築造工事を発注し、請負契約を締結した。また、ふじみ野三丁目地下貯留施設、東久保区画整理記念公園地下貯留施設、浸透井戸4箇所の浚渫のほか、調整池7箇所の草刈りを実施したことにより、施設の適正な機能を確保した。これにより、浸水被害の軽減に寄与したものと捉えている。	雨水関連事業
取組②				
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	近年の異常気象による集中豪雨や、大型化する台風に伴う大雨により、本市においても住家への浸水や道路冠水などの都市型浸水被害が発生していることから、浸水被害の軽減を図るため、雨水流出抑制に効果的な地域に調整池等の整備、及び雨水貯留浸透施設の設置を積極的に進めている。
順調	整備事業の推進により、浸水被害については一定の軽減が図られていると認識しているが、降雨量は想定量を大きく上回ることもあり、浸水被害を完全に防止することは難しい状況である。また、経年により老朽化した施設や汚泥等が堆積した施設もあることから、適切な維持管理についても求められている。
行政資源の活用	こうした状況を踏まえ、将来構想の重点プロジェクトに掲げられている「強靱なまちづくりプロジェクト」による“市民が安心して暮らせる環境をつくる”ため、既存施設の適切な維持管理を徹底するとともに、雨水貯留浸透施設の設置に取り組むことにより、確保する雨水貯留量の増加を図っている。なお、雨水貯留浸透施設については、積極的な設置に注力していることから、その設置実績は将来構想の目標値を上回るものである。
適切	令和6年度以降についても既存の雨水貯留施設の設置効果を検証しながら、川崎及び元福岡地区の浸水被害の軽減を図るため、川崎地区において調整池整備工事を進めるなど、各種財政支援制度を積極的に活用してハード対策を継続しつつ、雨水監視体制等のソフト対策についても充実を図るとともに、国、県及び近隣自治体との連携による都市型浸水被害対策を推進する。
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
大きな効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		江川3号雨水幹線（川越江川）維持管理負担金		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 06排水施設費			
所管部課		都市政策部 上下水道課		評価責任者	大塚 昌利
事務事業期間				評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、下水道法、ふじみ野市下水道条例、江川流域都市下水路の設置及び管理並びに住民の利用に関する協定書			
事務事業の内容	事務事業の目的	江川3号雨水幹線（川越江川）の排水区域内の住民は、下水道接続以外の生活排水（浄化槽処理水）及び雨水を江川3号雨水幹線（川越江川）への放流ができることから、施設の維持管理等について川越市が管理を行い、要した費用の負担割合分を本市が負担する。			
	事務事業の経緯	江川3号雨水幹線（川越江川）の排水区域内の住民が、当該区域内の生活排水（浄化槽処理水）及び雨水を江川3号雨水幹線（川越江川）に放流することができるよう、維持管理等に要する費用について川越市と負担割合の協定を締結し、効率的な維持管理を行っている。 ・負担割合 本市：50.7%、川越市：49.3%			
	事務事業の概要	管理者の川越市が支出する維持管理経費（保守点検等）に対して、負担割合に応じて負担金を支払う。			
	令和5年度の主な取組	管理者の川越市が実施する応急排水ポンプ管理業務、草刈清掃業務委託及び樋門保守点検委託等の維持管理に要する費用を精査し、負担割合に応じた負担金を適切に支出した。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.60
		人件費	797	793	4,754
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		797	793	4,754	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	2,727	11,646	6,839	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		3,524	12,439	11,593	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,524	12,439	11,593	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		31	109	99	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>管理者の川越市が実施する応急排水ポンプ管理業務、草刈清掃業務委託及び樋門保守点検委託等の維持管理に要する費用を精査し、負担割合に応じた負担金の支出を、川越市からの請求に基づき令和6年3月に支払いをした。</p>
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	江川3号雨水幹線（川越江川）の適正な維持管理等を行うために必要な負担金であるが、川越市で実施した内水解析業務の結果を踏まえ、負担割合の変更協議を継続的に実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		下水道事業管理等事務	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー		
予算費目				
所管部課		都市政策部 上下水道課	評価責任者	大塚 昌利
事務事業期間			評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		下水道法、地方公営企業法、ふじみ野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例、ふじみ野市下水道条例、ふじみ野市下水道事業経営戦略		
事務事業の内容	事務事業の目的	生活環境の改善、雨水の排除及び公共用水域の水質保全を図り、快適で安全な市民生活を確保するため、計画的・効率的な事業経営に取り組む。 また、下水道事業の健全運営に資するため、事業経営の基礎となる下水道使用料を適正に収納する。		
	事務事業の経緯	下水道事業は、平成28年度から地方公営企業法の全部を適用する地方公営企業となり、市長部局から独立し、独立採算が求められている。地方公営企業として適正な予算・決算及び出納事務を実施し、併せて継続的に安定的な経営を維持する。		
	事務事業の概要	的確な下水道事業の予算編成、決算処理及び執行管理を実施し、適正な会計処理を行う。 なお、下水道使用料の賦課徴収に関する業務については、水道事業に委託している。		
	令和5年度の主な取組	下水道事業の予算編成、決算処理及び執行管理を実施し、適正な会計処理を行うことにより、経営の安定を図った。 下水道公社による移動下水道教室を市内小学校全校で実施した。 下水道事業経営戦略を改定するため、上下水道審議会への諮問・答申及びパブリック・コメントを実施の上、令和6年3月に策定した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	3.30	3.34	3.80
		人件費	26,285	26,463	30,108
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.08	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		26,285	26,463	30,108	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	201	254	468	
	委託料	2,618	6,281	167	
	使用料及び賃借料	1,186	1,157	1,261	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	669,156	618,984	690,644	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	968,047	934,770	997,580	
支出合計		1,667,493	1,587,909	1,720,228	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,010,787	1,215,013	1,232,488
		分担金・負担金	381,953	35,622	379,544
		地方債	262,591	59,800	108,196
		基金	0	0	0
		その他	12,162	277,474	0
一般財源		0	0	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	0	0	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	当年度純利益（純損失）額		
	説明	収支状況を表し、収益から費用を減じた事業活動の最終的な収支状況を表す指標。 ※この数値がプラスであれば純利益、マイナスであれば純損失が生じている。		
活動	単位	千円		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	54,150	57,701	125,366
	実績値	134,328	235,384	
指標 2	指標名	経常収支比率		
	説明	経常費用が経常収益によって、どの程度賄われているか収益性を表す指標（経常収支比率＝経常収益/経常費用×100）		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	103.51	103.75	100.00
	実績値	109.61	116.53	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>下水道事業の予算編成、決算処理及び執行管理を実施し、適正な会計処理を行うことにより、経営の安定を図った。</p> <p>下水道公社による移動下水道教室を小学校全校で実施し、4年生児童1,044人が参加した。移動下水道教室を通じて児童たちが下水道を身近に感じ、関心を高めることができた。</p> <p>下水道事業経営戦略について、令和4年度及び5年度の2年間で改定を行い、令和6年3月に新たな下水道事業経営戦略（計画期間10年：令和6年度から令和15年度まで）を策定した。</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	生活環境の改善、雨水の排除、公共用水域の水質保全を目的に下水道事業の運営を行っている。下水道事業は、平成28年度から地方公営企業法の全部を適用する地方公営企業となり、市長部局から独立し独立採算制を原則としていることから、「ふじみ野市下水道事業経営戦略」に基づき、今後も持続可能な経営を維持する必要がある。
中長期的方向性	市街化調整区域の公共下水道（污水管渠）整備については、受益者負担金の新規賦課及び徴収事務が円滑に行われるよう、工事説明会等において対象地区住民に対する受益者負担金制度の周知及び啓発を図る。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		下水道施設管理・整備事業（污水）		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー			
予算費目					
所管部課		都市政策部 上下水道課	評価責任者	北澤 豊	
事務事業期間		～令和25年度	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、下水道法、ふじみ野市下水道条例、ふじみ野市公共下水道事業受益者負担に関する条例、ふじみ野市下水道事業経営戦略、下水道ストックマネジメント基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	下水道施設の良好な機能を維持する。			
	事務事業の経緯	市内の公共下水道（污水）は、都市計画法、下水道法に基づき、整備区域拡大を図ってきた。また、過去に整備してきた公共下水道施設の老朽化が進んできていることから、下水道法令や経営戦略との整合を図る。			
	事務事業の概要	①下水道施設の日常的な管理運用と計画的な保守点検を行い機能を維持する。 ②水質検査を計画的に実施し、利用者に対し適切な排水指導を行う。 ③埼玉県荒川右岸流域下水道の新河岸川水循環センターにて污水を高度処理するための負担金を支払う。			
	令和5年度の主な取組	①社会資本整備総合交付金により、管路施設等維持管理費の平準化を図るために、市内の処理分区内において、ストックマネジメント点検結果に基づき、修繕計画を策定した。また、管路のストックマネジメント調査業務を実施した。 ②特定施設等に対する水質検査を実施し、改善が必要な事業所等に対し排水指導を行った。 ③市街化調整区域の汚水管渠未普及対策として、大井・苗間、駒林、川崎地区の公共下水道（污水）整備工事を実施した。また、当該地区の整備工事に伴う工事実施設計を行った。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.00	1.26	1.30
		人件費	15,930	9,983	10,300
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	15,930	9,983	10,300	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	18,344	18,014	14,696	
	委託料	44,982	50,536	122,609	
	使用料及び賃借料	250	512	285	
	工事請負費	87,558	393,822	336,600	
	負担金、補助及び交付金	16,435	16,658	18,305	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	25,369	28,967	41,370	
	支出合計	208,868	518,492	544,165	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	9,210	58,420	70,670
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	162,829	163,414	375,746
		分担金・負担金	3,108	17,756	10,149
		地方債	33,721	188,300	87,600
		基金	0	0	0
		その他	0	90,602	0
	一般財源	0	0	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	0	0	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	有収率		
	説明	ゲリラ豪雨等による雨水の流入及び、老朽化した下水道管への不明水の流入により、排水量(不明水)が増加していることから、改修・修繕が、不明水の流入軽減にどれだけ効果があったかを測るもの。		
活動	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	84.50	84.50	84.50
	実績値	88.20	88.77	
指標 2	指標名	下水道普及率		
	説明	行政区域内の公共下水道(汚水)の普及を促進するため、未整備区域の解消を図る必要がある。		
活動	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	94	94	94
	実績値	94	94	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【ストックマネジメント計画】 令和5年度社会資本整備総合交付金による点検調査業務を約20km(マンホール目視調査工827基, マンホール蓋点検工827基)実施した。今回の調査結果において、緊急に修繕・改築する必要な箇所の報告はされなかった。また、マンホール蓋ストックマネジメント修繕・改築計画を策定したことから、今後、この修繕計画に基づき、コストの平準化と、施設の長寿命化を図る。</p>
	<p>【水質検査】 市内の特定事業所として指定されている15事業所については、年4回の水質検査を実施した。また、市条例で除害施設がされている18事業所については、年2回の水質検査を実施した。排水水質基準を超過している事業においては是正勧告等を行い、水質改善を図った。</p>
	<p>【未普及地区の対策】 市街化調整区域内の公共下水道(汚水)未整備地区については、大井・苗間、駒林、川崎地区において、公共下水道整備工事を実施し、施工延長として約1.2km完了した。また、令和6年度以降の発注に向けた同地区の工事実施設計業務委託を約2.0km実施した。</p>
	<p>【荒川右岸流域下水道事業関連負担金】 荒川右岸流域下水道事業建設事業及び荒川右岸流域下水道維持管理の事業内容を確認し、負担金を適正に支払った。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	公共下水道施設の日常の安全点検を確実に行うことにより、施設の損傷を早期に発見し改善するとともに、引き続き県や関係市町と協力して不明水対策調査に取り組む。 ストックマネジメント点検調査の中で、危険性が高いと判断された施設等が報告された場合は、修繕を実施するとともに、管路等施設のストックマネジメント実施方針により、維持管理業務の効率化、コストの平準化を図り、安全・安心な下水道施設を維持する。
中長期的方向性	市街化調整区域の公共下水道未整備区域の解消を図るため、下水道事業計画の見直しを行いながら、計画的に公共下水道整備事業を進める。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		下水道施設管理・整備事業（雨水）		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		強靱なまちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー			
予算費目					
所管部課		都市政策部 上下水道課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		～令和25年度		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、下水道法、ふじみ野市下水道条例、下水道ストックマネジメント基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留浸透施設等の整備を促進するとともに、適正な施設の維持管理を行なう。			
	事務事業の経緯	平成27年度から令和2年度までに大井武蔵野地区に2基、亀久保大野原地区に1基の雨水調整池を設置した。また、元福岡地区等の浸水被害軽減対策として、令和3年1月26日に川越市と内水対策施設の整備に関する協定を締結し、川崎地内に調整池及びポンプ施設を設置する計画を進めている。			
	事務事業の概要	台風や集中豪雨により雨水浸水実績のある地区を優先として、雨水貯留浸透施設の整備を促進する。また、富士見市との協定に基づき砂川堀第2雨水幹線の維持管理を定期的に行う。			
	令和5年度の主な取組	①川越江川に係る内水対策施設事業として、川崎地内に貯留量約38,000m ³ 、吐出力毎秒約3.5m ³ のポンプ施設等の工事実施設計に基づき、川崎調整池築造工事を発注した。 ②令和2年度に富士見市が設置した砂川堀第2雨水幹線ゲート施設について、富士見市との協定に基づき負担金事務を行ったほか、維持管理協定に基づき除草等を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	2.00	2.35
		人件費	3,983	15,846	18,620
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,983	15,846	18,620	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	941	1,610	3,686	
	委託料	78,546	28,276	12,313	
	使用料及び賃借料	0	434	893	
	工事請負費	2,068	2,420	1,016,422	
	負担金、補助及び交付金	9,453	3,406	4,814	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	397,592	41	80		
支出合計		492,583	52,033	1,056,828	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	205,800	0	506,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	37,307	8,569
		分担金・負担金	227,923	5,634	13,341
		地方債	58,860	0	528,918
		基金	0	0	0
		その他	0	9,092	0
一般財源		0	0	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	0	0	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	川崎調整池整備事業		
	説明	川崎調整池整備事業の進捗管理として、事業費ベースの進捗率の算出を行っている。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	11.95	41.30	70.65
	実績値	15.44	15.44	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【川崎調整池整備事業】 工事発注に向けて、設計内容の精査を行ったため、工事発注が遅れたが、関係機関との協議も整い、令和5年度中に、川崎調整池築造工事の請負契約締結が完了した。 今後は、工事説明会を開催し、工事に着手する。</p> <p>【砂川堀第2雨水幹線】 砂川堀第2雨水幹線の除草業務のほか、フェンス改修工事を実施した。これにより、適正な維持管理が図れた。</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	元福岡地区や川崎市寺尾地区において、平成29年台風第21号及び令和元年東日本台風により発生した内水浸水被害の再度災害軽減を図るため、川崎地区に調整池及びポンプ施設の早期完成を目指す。 また、砂川堀第2雨水幹線については、富士見市との協定に基づき、相互の負担金事務を適切に行い、適正な施設の維持管理を行うとともに、修繕などを実施することにより排水機能の維持を図る。
中長期的方向性	令和6年度から、福岡江川幹線事業を統合する。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		福岡江川幹線事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー			
予算費目					
所管部課		都市政策部 上下水道課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		～令和25年度		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	福岡江川幹線の機能保持及び管理の適正化を図る。			
	事務事業の経緯	近年の気候変動による豪雨により、福岡江川幹線周辺にて浸水被害が発生してきたことから、雨水の適正排除のための下水道機能を保持し、適切な維持管理を必要としてきた。			
	事務事業の概要	福岡江川幹線の定期的な清掃及び修繕等を計画的に行う。			
	令和5年度の主な取組	①出水期間には江川樋管部に臨時用排水ポンプ2基を設置し、水宮地内の浸水軽減を図った。 ②東武東上線より上流約950mの暗渠区間の施設点検調査結果に基づき、劣化による損傷箇所の修繕を実施した。 ③福岡江川流域の排水量調査を実施したことから、当該地区の浸水軽減対策について検討を行う予定であったが、現在、整備されている調整池の効果を検証後に検討することとした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.20	0.00
		人件費	7,965	9,508	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		7,965	9,508	0	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	709	1,177	0	
	委託料	3,927	3,405	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	1,375	1,463	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	0	
支出合計		13,976	15,553	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	6,791	0
		分担金・負担金	13,976	6,045	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	2,717	0
一般財源		0	0	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	0	0	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	浸水被害軽減策としての浚渫		
	説明	台風や集中豪雨等の大雨後に、福岡江川幹線の底面に汚泥が堆積し流下阻害をもたらすおそれがあることから、浚渫を実施することにより、流域の浸水被害の軽減を図る。 ※ 隔年実施		
活動	単位	m		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	-	750	-
	実績値	-	670	
指標 2	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【浸水被害軽減策】</p> <p>①排水ポンプ設置 新河岸川と福岡江川幹線の合流部において、出水期間に限定して臨時排水ポンプ（1分当り4m³排水）を2基設置した。 ※設置期間 令和5年5月19日～令和5年12月15日</p> <p>②施設修繕等 東武東上線より上流約950mの暗渠区間において、劣化による損傷箇所の修繕、堆積土砂の浚渫を実施した。</p> <p>③浚渫 福岡江川幹線開渠部（水天宮橋～谷田橋間）において幹線底部に堆積した汚泥の浚渫作業を実施した。 （令和5年度実施、隔年事業としていることから令和6年度は未実施） ※施工延長 L=約670m 土砂処分量 V=約38m³</p>
	<p>事業の実施により、福岡江川幹線の排水機能を維持し、適正な雨水排除を促すことで、下流区域における浸水被害の軽減に寄与した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
統合	福岡江川流域の浸水被害の軽減のため、福岡江川樋管部で、出水期間中、臨時排水ポンプ（8吋2台）の設置を継続して行い、幹線底部の汚泥堆積を監視し、流下阻害防止のため浚渫作業を行うとともに、施設機能を保全するため、除草作業を継続的に実施する。
中長期的方向性	国道254号バイパス土地区画整理事業により整備される調整池の効果についても検証し、これまでの雨水対策の効果と併せて、追加の浸水対策について検討をする。
統合	令和6年度から、下水道施設管理・整備事業（雨水）に統合する。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		下水道事業負担金	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 02公共下水道費		
所管部課		都市政策部 上下水道課	評価責任者	大塚 昌利
事務事業期間		平成28年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	地方公営企業は、経費の負担の原則により、その性質上、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費（雨水処理に要する経費等）については、一般会計等において負担するとされており、対象経費に対する負担金を支出することで、負担区分の適正化を図る。		
	事務事業の経緯	下水道事業においては、汚水処理と雨水処理があり、経費の区分について、雨水の排除や公共用水域の水質保全などは、「雨水公費・汚水私費」の原則により一般会計において負担するものとされていることから、下水道事業への負担金は、総務省の繰出基準に基づき適切に算定している。		
	事務事業の概要	下水道事業では、汚水を処理する公共下水道と雨水を処理する一般管を有しており、河川等の水質改善及び生活環境の向上に寄与するために、適正な維持管理が必要となることから、下水道事業会計の負担区分の適正化を図るため、下水道事業会計への負担金（繰出金）を支出する。		
	令和5年度の主な取組	経費負担区分の適正化を図るため、国の繰出基準に基づき適切に積算された負担金（繰出金）を下水道事業会計へ支出した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	797	793	793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		797	793	793	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	243,084	295,985	332,285	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		243,881	296,778	333,078	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		243,881	296,778	333,078	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		2,132	2,600	2,881	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	一般会計繰出金のうち企業の収入を充てるべき経費に対する繰出金の率		
	説明	一般会計より繰り出される繰出金において、国が一般会計で負担すべきと定める「繰出基準」を負担金（繰出金）の原則とすることにより、地方公営企業の経営健全化を図る指標とする。 ※この比率が0%である場合、企業収入を充てるべき経費の中に一般会計繰出金が充当されていないことから、経営の健全化が図られている。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	経費負担区分の適正化を図るため、国の繰出基準に基づき、適切に積算された負担金（繰出金）を下水道事業会計へ支出した。
------------------	-----------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	下水道事業では、汚水を処理する公共下水道と雨水を処理する一般管を有しており、河川等の水質改善及び生活環境の向上に寄与するために、適正に維持管理しなければならない。 下水道事業会計の負担区分の適正化を図るため、今後も下水道事業会計への負担金（繰出金）を適切に支出する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		排水施設事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー			
予算費目 一般会計 08土木費 04都市計画費 06排水施設費					
所管部課		都市政策部 上下水道課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		～令和25年		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 地方自治法、下水道法、ふじみ野市下水道条例					
事務事業の内容	事務事業の目的	下水道施設の良好な機能を維持することを目的とする。			
	事務事業の経緯	大雨などで一般下水道施設への土砂等の流入により、排水機能が低下したことで、道路冠水等の浸水被害が発生した経緯を踏まえ、施設の適正かつ良好な維持管理を行う。			
	事務事業の概要	排水施設等の定期的な清掃及び点検等を計画的に行う。			
	令和5年度の主な取組	富士見市との協定に基づき実施している旧砂川堀改修工事については、浸水被害の危険を早期に軽減することを目的として、令和4年度に水路幅2mのU型水路整備が完了したため、門扉設置及び水路両側の舗装工事を行った。 県道さいたまふじみ野所沢線において、テレビカメラ調査を実施し、経年劣化等による一般下水道管の異常の有無を確認した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.00	1.55
		人件費	10,355	7,923	12,281
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		10,355	7,923	12,281	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	39,458	46,953	85,471	
	委託料	10,368	8,704	13,731	
	使用料及び賃借料	92	28	75	
	工事請負費	15,300	2,064	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	2,970	3,700	3,941		
支出合計		78,543	69,372	115,499	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	13	12
		分担金・負担金	2,825	1,516	852
		地方債	0	0	0
		基金	4,649	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		71,069	67,843	114,635	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		623	594	992	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	一般下水道管の洗浄		
	説明	雨水や雑排水の滞留を防止するため、一般下水道管内の洗浄業務の実施延長。		
活動	単位	m		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	350	350	350
	実績値	343	1,030	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【旧砂川堀改修工事】 旧砂川堀について、令和4年度までに合計53mの水路拡幅が終わり、令和5年度は附帯工事として門扉フェンスの設置及び水路両側を舗設したことで、施設の安全確保を図り、沿線住宅への環境整備を行った。</p> <p>【一般下水道管渠清掃】 一般下水道管渠について、350mの清掃を計画していたが、安全点検等で管渠を調査したところ、土砂等の堆積がなかったため、未実施</p> <p>県道さいたまふじみ野所沢線において、テレビカメラ調査を実施し、経年劣化等による一般下水道管渠の異常の有無について調査した。この調査結果に基づき、修繕等を実施する。</p> <p>大井地内において、一般下水道管渠状況を確認するため、テレビカメラ調査を実施した。 (テレビカメラ調査 清見地内外 800m 大井地内 230m)</p> <p>【雨水排水路維持管理】 雨水排水路について、除草等の定期的な維持管理の実施により、雨水幹線等の下流区域における浸水被害の軽減に努め、適正な施設状態の保全と円滑な流下能力を確保した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	旧砂川堀改修工事は、浸水軽減を早期に実現するため、拡幅工事については、令和4年度で完了し、令和5年度は、門扉フェンスの設置及び水路両側の舗設を終え整備が完了した。今後は、適切な維持管理を図り、旧砂川堀周辺の苗間地区の浸水被害軽減対策に努める。
中長期的方向性	また、昭和40年代に布設された一般下水道管の劣化状況を調査するため、一般下水道管内のテレビカメラ調査を実施しているが、安全な下水道施設を維持する観点から、国道、県道、緊急輸送路のほか、主要な市道に埋設される一般下水道管を優先的に、調査を進める。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		雨水関連事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		強靱なまちづくりプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	33 下水道 ー浸水被害を防止し、環境整備のため生活排水処理を進めますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 06排水施設費		
所管部課		都市政策部 上下水道課	評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		～令和25年	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法、下水道法、ふじみ野市雨水流出抑制対策取扱要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	雨水の流出抑制として雨水浸透施設の設置、及び機能保持に必要な清掃・点検等を行うことにより、雨水浸水の防止・軽減を目的とする。		
	事務事業の経緯	大雨により市内各地で浸水や冠水被害があった経緯を踏まえ、都市型水害対策として、遊水池や雨水浸透施設などの整備を進めるとともに、開発行為により整備される宅地・道路に対し、雨水流出抑制対策取扱要綱に基づき雨水浸透施設の設置に対する指導を行ってきた。		
	事務事業の概要	浸水被害が発生している地区に雨水貯留浸透施設等の設置を行う。併せて、雨水貯留浸透施設の清掃・点検等を定期的に行う。		
	令和5年度の主な取組	調整池等施設の滞水状況を遠隔にてモニタリングできるよう、市内11箇所の雨水関連施設に、出水期間中、監視カメラを設置した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.50	1.55
		人件費	13,541	11,885	12,281
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		13,541	11,885	12,281	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,365	1,346	9,549	
	委託料	19,469	18,813	22,652	
	使用料及び賃借料	3,353	2,902	3,657	
	工事請負費	3,358	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	76	264	337		
支出合計		41,162	35,210	48,476	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		41,162	35,210	48,476	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		361	308	413	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	雨水浸透施設等の設置		
	説明	浸水被害を軽減するため、雨水浸透施設等の設置基数。		
活動	単位	基		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	52	53	54
	実績値	54	54	
指標 2	指標名	浸透施設等維持管理		
	説明	ゲリラ豪雨等による浸水被害を軽減するため、浸透施設等の清掃業務の実施基数。		
活動	単位	基		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	12	12
	実績値	15	13	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【調整池等監視カメラ設置】 11箇所の調整池等に監視カメラを設置し、遠隔監視を強化したことにより、台風やゲリラ豪雨時の状態をリアルタイムで情報収集し、速やかな現場対応ができるようにした。</p> <p>【雨水浸透施設清掃等業務】 雨水浸透井戸の清掃4箇所、調整池等草刈り7箇所、ふじみ野三丁目地下貯留施設の浚渫1箇所、東久保区画整理記念公園地下貯留施設の浚渫1箇所の合計13箇所の雨水関連施設について、除草や浚渫清掃を行ったことにより、施設の適正な機能を確保した。</p> <p>調整池（鶴ヶ岡、亀久保、苗間642、桜ヶ丘、市沢、東久保、大井・苗間） 浸透井戸（大井武蔵野地内 3箇所 大井中央地内 1箇所）</p>
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>台風や集中豪雨により、雨水浸水被害にあった地域については、雨水貯留浸透施設の整備を進めてきたが、設置済みの雨水浸透槽の効果を見極めながら今後のさらなる雨水対策の整備方法を検討するとともに、福岡江川雨水幹線などへのピークカットについても検討を行う。</p> <p>また、11箇所の調整池等に設置した監視カメラについては、IoTを活用した水害対策として導入しており、遠隔監視の強化により、台風やゲリラ豪雨時の状態をリアルタイムに情報収集できるようにする。</p>
中長期的方向性	
継続	